

<令和7年11月25日（火） 教育長定例会見>

<部活を考える。「学校部活」から「SAGA BUKATSU」へ>

SAGA BUKATSU PROJECT 進行中！

SAGA BUKATSU PROJECT を、令和3年度から始めました。

背景には全国的な少子化や子どもたちの部活動に対するニーズの多様化があります。

これは、子どもたちの活動をこれからも続けられるように環境整備をするため、立ち上げたプロジェクトです。

SAGA ならではの特徴は、II のモデルパターンを作ったことにあります。

第Ⅰ期(令和4～6年度)は、モデルパターンを参考に先行事例を創出する段階です。県教育委員会から市町への伴走支援として、部活動指導者の紹介や指導者と部活動と指導者のマッチング、市町が情報交換をできる場の提供などを行いました。

令和7年度からは第Ⅱ期になります。多様な活動スタイルを県全体に浸透させたいと考えています。保護者や地域住民への周知のためにコンセプトブックをつくりました。

子どもたちの笑顔のために部活について考えていこうという取組を進めていきます。

「佐賀ならではの」のアイデアで部活の幅が広がる

II のモデルパターンのいくつかを紹介します。

- ・これまでどおり、学校内での部活動：城東中学校（吹奏楽部）
- ・学校で地元のパラスポーツ協会がサポート：白石中学校（アダプテッドスポーツ部）
- ・学校で部活指導員が指導：三田川中学校（剣道部）
- ・中高生と一緒に活動：白石高校（書道部）
- ・複数世代が活動（ジュニアからシニアまで）：伊万里実業高校（ホッケークラブ）
- ・学校外の施設で活動：SAGA ジュニアカヌークラブ
- ・学校外で休日に活動：武雄市スポーツ協会が中学生を対象に競技ごとに活動
- ・総合型地域スポーツクラブで活動：多久スポーツピア
- ・保護者やOBが後押し：きやまベースボールクラブ（軟式野球）

みんなで考える部活動を目指して！

ロゴマークとコンセプトブックを作りました。

ロゴマークは、部活動の枠を広げ、未来に向かって伸びていくさま・子どもたちが飛び立っていくさまをイメージした奥行きがあるデザイン。

コンセプトブックは、小学校6年生の保護者に配付予定。部活動の現状やビジョンを分かりやすい表現でまとめました。

子どもたちの笑顔のために、SAGA BUKATSU PROJECT は、これからも進み続けます。

<すごいぞっ！佐賀の専門高校・総合学科高校>

中学生、進路指導に関わる教師、保護者のみなさんに、専門高校・総合学科高校を知ってもらい、進学の実選択肢に挙げていただきたい。

佐賀県の専門高校・総合学科高校のリアル！

以前は、職業高校・実業高校と呼ばれていた専門高校のイメージをアップデートしていきたいと思っています。

現在、県内の高校生の41.6%が、専門学科と総合学科で学んでいます。

専門的で実践的な時代に合った学びを用意しています。例えば、ドローンによる農薬散布や梨の受粉といった、スマート農業、ペット関連、3Dプリンターを使った部品作り、ネットビジネスの実践、アパレルCADといったプロが使うような機械を使った実践的な学びを実現。介護分野では、抱え上げない介護という介護される人・する人の負担を減らす、現場を意識した実践に取り組んでいます。

このように、専門高校・総合学科での学びは進化しています。

「好き」が力になる。スペシャリストの最短ルートがたくさん！

現在、県内の公立高校で専門学科のある高校は15校、総合学科がある高校は4校。

農業科は、農業分野のスペシャリストを目指し、フードサイエンスも学びます。

工業科は、ものづくりのスペシャリストを目指します。

商業科は、ビジネスのスペシャリストを目指します。

家庭科は、生活を豊かにデザインする生活産業のスペシャリストを目指します。

総合学科は、1年次は普通科目。2年次になると、専門分野に分かれて学びます。

佐賀県の特徴は、学校が身近な地域に選択肢としてたくさんあるところです。進学する中学生には、もし好きな分野があれば、スペシャリストへの最短ルートがあることを視野に入れ、幅広い選択肢の中から進学先を選んでほしいと思います。

“選ばれる”のには理由がある！

理由1：全国トップクラスの技術力

- ・2024年日本学校農業クラブ全国大会 最優秀賞
- ・2025年全国高校生観光ビジネスアイデアコンクール 最優秀賞など多数受賞

理由2：特色ある学び

- ・デイサービスの運営実習
- ・小学生の授業のサポート

- ・実習で作った生産物を地域で販売

理由 3：多彩な進路

- ・多くの生徒が進学。4 年制大学への進学も増えています。
- ・専門分野を生かした就職

それぞれの目標に向けて、未来に向かってがんばっています。

<スクールレポート>

鳥栖業業高校 県内でも珍しい!! 小学校プログラミング教室

普段は、プログラミングを学習し、オリジナルゲームの制作、その成果をプレゼンテーションするなどの活動をしています。このような校内の学びを生かし、小学校高学年を対象に、毎年プログラミング教室を実施しています。例えば、小学生も簡単に組み始める Scratch ゲームの制作、ドローンを飛ばす、レゴブロックを動かすなどを行っています。小学生たちからは、「優しく教えてもらいうれしかった」「興味がなかったが、楽しさがわかった」など手応えを感じているようです。

今年のテーマは「かわいい」。教材用ロボットにアザラシのぬいぐるみをかぶせ、プログラミングの技術で動かします。また、キャラクターを選んで魚をキャッチするゲームといった、子どもたちが楽しみながら学べるゲームを企画中です。

小学生は高校生から学ぶという新鮮さ、高校生は小学生に伝えるための企画を試行錯誤するという学びの取組になっています。

牛津高等学校 今年も開催します、服飾デザイン科 3 年間の集大成。

牛津高校は、県内唯一の服飾デザイン科がある学校。服や手工芸品をつくるための専門的な知識と技術を学んでいます。

毎年 12 月にファッションショーを開催。平成 13 年度以降、校外の施設での開催に変更。会場にはランウェイを設け、自作のドレスを着用しウォーキングします。そのためのレッスンも受けています。

3 年生がショーの企画や運営、1・2 年生は会場の準備を担当し、学科全体で夢のステージを運営します。今年のテーマは「Wings」。一人一人が自分の夢を追いかけて、それぞれ違う方向へ羽ばたくという意味が込められています。

今年の新しい企画として、着てみたい夢の服を小学生から募集。169 点もの応募があり、その中の 1 点を制作しファッションショーで披露します。

このような企画力や表現力、チーム力を磨きながら感動のステージをつくっています。

<トピックス>

さんフェア SAGA2026

全国産業教育フェアの開催まで、あと 333 日。これは、全国の専門学校・総合学科高校の生徒たちの学びのインターハイです。今年の「さんフェア福島大会」では、

- ・鳥栖商業高校が、観光ビジネスアイデアコンクール文部科学大臣賞（最優秀賞）
- ・佐賀商業高校が、同コンクール 優秀賞（2 位）
- ・佐賀工業高校が、ロボット競技大会 アイデア賞
- ・神埼清明高校が、介護技術コンテスト 奨励賞
- ・伊万里実業高校が、フラワーアレンジメント 審査員奨励賞

今後、ポスターの制作、公式サイト開設、SNS 等の発信などの広報に力を入れています。また、大会を盛り上げるため、協賛をお願いします。

東部教育事務所が移転しました～10 月 14 日新事務所で始動～

佐賀の総合庁舎の中にあった教育事務所が中央通りのほうに移転してまいりました。

教育事務所は、県内に 3 か所置かれ、分割区域内の小・中学校の学校運営全般を支えている事務所です。これからも教育の最前線で、教育事務所が学校現場を支えます。